

以下は 2020 年度に東アジア圏へ長期留学した学生による留学関連情報と最終報告書です。留学者は開南大学への 1 名のみです。

留学先	台湾・開南大学
留学期間（半年/1 年）	1 年
留学開始時の学年	2 年生
派遣先での授業と時期	<p>■学部の授業</p> <p>→■春学期(2月中旬～7月下旬くらいまで)</p> <p>■秋学期(9月上旬～1月上旬くらいまで、授業によって異なる)</p> <p>→■現地学生メインの授業</p> <p>■留学生メインの授業</p>
宿舎	<p>■学生寮</p> <p>→寮費に食事が含まれるか： なし</p> <p>→ルームメイトの国籍と人数： 1 人部屋の提携マンションのためルームメイトなし</p> <p>→水道光熱費も含んだ寮費の月額： 提携マンション 家賃が月々7,100 元（インターネット、水道代込み） 別途光熱費のみで約 500 元～ほど</p> <p>→夏休み・冬休みも寮に滞在できるか： 寮ではなくマンションのため可能</p>
スマホ・携帯電話はどうしていたか	<p>日本から SIM フリー端末を用意して現地で SIM カードを購入</p> <p>→金額など詳細： 学生料金で定額、大体月 1500 円程度で使い放題</p>
現地での資金調達はどうしていたか	<p>楽天カードを作っていたので親に送金してもらってセブンでおろして使っていた。</p>
現地で困ったので日本で準備した方が良かったこと	<p>特になし</p>
留学を考えている後輩へ伝えたいこと	<p>留学を考えている人たちは是非留学に行ってみて欲しいです。現地のことをわからなくても暖かく出迎えてもらえます。空港には留学先の同い年くらいの台湾人の学生が出迎えてくれて留学期間中はサポートしてもらえます。中国語は住んでいるうちに自然と喋れるようになってたり、自分から話してみようと思えるようになります。なので言葉が分からないから、喋れないからと留学を諦めず是非 1 度留学を経験して欲しいです。台湾は日本の店や食べ物もたくさんあるので私は街並みとか</p>

は特に日本との違いはあまり感じませんでした。コンビニは日本にあるのでいうとセブンイレブン、ファミリーマートがありました。日本のデパートやお店がたくさんあったので特に不便と感じたことはありませんでした。洋服なども日本のブランドもあるので現地調達で問題はなかったです。留学先で出会えた日本人の友人や台湾人だけでなく韓国人やベトナム人など様々な国の人と関われる絶好のチャンスだと思います。授業も最初は聞き取れなかったり分からないとは思いますが、授業によっては日本語の話せる先生もいたり周りの人たちもサポートしてくれるので大丈夫です。私は特にリスニングの授業に参加していましたが、他の日本人の留学生もいる授業だったので安心して授業に集中できました。すぐに授業にも慣れますし、先に留学していた日本人の先輩もサポートしてくれるので大丈夫です。最初は全く聞き取れなかった中国語も、授業で習った単語を積極的に街中で聞くことを意識したり、店で注文するときに使ったりするとより自分の語学力向上に繋がると思いました。また韓国語の授業もとっていましたが、中国語で韓国語を勉強するので先生にテストの時なども配慮していただきました。私は台湾に行くまでは将来の夢は特になかったのですが、台湾に留学に行って台湾人の友達に出会って様々な話を聞いて自分の将来の夢を見つけることができました。留学に行かなかったら見つからなかった夢だと思います。自分の将来についても見つめ直す良い機会でした。

留学最終報告書

1年間の台湾留学を振り返ってみて、留学に行つて中国語の習得だけでなく、自分の将来の夢を見つげられたこと大切な友人に出会えたことが留学に行つてよかったと強く思います。留学を通して学んだことが2つあります。

1つ目は日本語以外の複数の言葉を勉強する大切さです。初めは何も聞き取れず、入国審査でも時間がかかったくらい中国語が話せない私でしたが留学後は日本語が話せない台湾人と中国語で会話することができるくらいに成長できました。台湾人の人はとても暖かく優しい方が多いです。だからと言って日本語が分かる台湾人に中国語が話せないから日本語で話すばかりでは私は甘えてばかりで駄目だと思いました。一生懸命私の分かる日本語で話してくれて私は相手のわかる中国語を話せないんだろうと悩みました。努力が足りないと改めて思い毎日カフェで台湾人の友達と勉強したり、自分から積極的に中国語で話そうとしました。そして帰国前には以前は日本語で話してた台湾人の友達とも中国語で会話することができるようになりかなり成長できたのではないかと思います。もし間違っていたても友達が教えてくれて訂正してくれますし、思っていたより中国語を話すのは怖くなくなりました。私が1人で勉強していたりご飯を食べていたら自然と寄ってきてくれて気づけばいつも私の周りには友達がたくさんいました。遊びに行く時も必ず私のことを誘ってくれたり、そのおかげでたくさんの思い出ができました。まさか自分がこんなに楽しい留学生活を送れるなんて思いもしていませんでした。初めて台湾人ではなく韓国人の友達ができるときも私は少しだけ韓国語を勉強していたので韓国語で話しかけて仲良くなれたのですが、私が話しかけた時、韓国語を話せるの？ととても喜んでいました。他の国の言葉を話せるとその国の人に喜ばれ、友達になれます。もし私が韓国語を全く話せなければ友達になれなかったと思います。また、私にも日本語を教えてと日本語に興味を持ってくれました。お互い教え合いながら日本語、韓国語、中国語を勉強してこの1年間支え合いました。素敵な出会いに恵まれたと思います。

2つ目は、台湾人の優しさに触れて私も改めて他人に優しく思いやりを持つことの大切さを学びました。私がある事で悩んで泣いてしまった時に台湾人の友達が深夜でも駆けつけてくれて話を聞いてくれました。その子は次の日用事があったため他の友達に連絡して泊めてくれました。その友達はシェアハウスをしていましたが私は一人暮らしだったため明日は帰らなければと言ったら、一緒に住んで良いんだよ。ここなら1人じゃないよみんな歓迎するよ。と優しく声をかけてくれました。私はこの言葉を聞いて人種や話す言葉が違っても私のことを認めてくれる人がいたと実感しました。私が逆の立場になった時いきなり言葉も文化も違う人に住んで良いんだよと声をかけられるか正直分かりません。なのに何の躊躇いもなく他人にこう言う言葉が言える友達は本当に素敵な人だと思いました。私もこの友達みたいに誰にでも平等で助け合える人になりたいと強く思いました。

この留学を通して、自分自身を見つめ直す大切さ、日本語以外の言語が理解できる話せることの大切さを学びました。